

推進計画での検討案比較表

資料 1

検討案の概要一覧

推進計画での検討案	概要	イニシャル・ランニングコスト		メリット	デメリット
案 1 現状維持(20年間維持)	・温水プール・管理棟・屋外プールを保全工事を重ねながら今後20年(管理棟築60年)程度まで維持して使用していく	・保全工事：12億円 ・屋外プールの管理・運営 3,000万円/年、20年間 6億円	18億円	・屋外50mプールの継続利用が可能	・利用者動線(WET/DRY)の交錯や、バリアフリー上の課題の解決はできない。 ・市道第17号線の歩道拡幅ができない。 ・敷地内への緊急車両や大型車両の進入路の拡幅や、緊急車両の駐車スペース、屋外多目的スペースの確保ができない。
案 2 全面解体・建替 屋内温水プール+屋外プール	・温水プール・管理棟・屋外プールを解体し、建替え。 ・建替え後の屋外プールは25mに縮小	・解体・建替工事：37.2億円 ・屋外プールの管理・運営 3,000万円/年、20年間 6億円	43.2億円	・屋外25mプールの運用が可能 ・温水プール建替えによる機能・サービス向上による利用者の増加が期待できる。 ・敷地内への進入路の拡幅、緊急車両スペース確保、外部多目的スペースの整備が可能。 ・市道第17号線の歩道拡幅 ・建物内の共用スペースや付帯運動施設の充実が可能。	・長水路(50m)の大会開催ができない
案 3 全面解体・建替 屋内温水プール	・温水プール・管理棟・屋外プールを解体し、建替え。 ・屋外プールは廃止	・解体・建替工事：31.4億円	31.4億円	・温水プール建替えによる機能・サービス向上による利用者の増加が期待できる。 ・敷地内への進入路の拡幅、緊急車両スペース確保、外部多目的スペースの整備が可能。 ・市道第17号線の歩道拡幅 ・建物内の共用スペースや付帯運動施設の充実が可能。	・長水路(50m)の大会開催ができない ・屋外プール廃止による夏季利用者の減少が想定される。

注記) ・イニシャル・ランニングコストはR3年度推進計画で算出したコストを元に、建設物価、人件費等の上昇分を加味して算出。
・プールの維持・管理費は屋内部分(管理棟及び屋内プール部)は同程度と想定し、案により仕様の異なる屋外プール部分を対象として算出。

検討案比較表

		コスト		サービス水準					課題への対応		周辺環境	
		イニシャル	ランニング	機能性 利便性	快適性	プールの 充実	屋外プール	サービス量 1	付帯施設の 整備 2	バリアフリー 対応	利用者動線	災害対策 3
案 1	現状維持	○		×	×		○	○	×	×	×	×
案 2	建替え、屋外プール(25m)あり	×		○			○	○	○	○	○	○
案 3	建替え、屋外プール廃止		○	○		○	×		○	○	○	

注記
 ※1 年間を通じてのプール利用者の利用機会、利用日数の確保
 ※2 プール施設の充実につながる利用者の交流スペースや、トレーニング室等の付帯機能の整備
 ※3 敷地内への十分な進入路の確保や、災害時の緊急車両の駐車スペースの確保等
 ※4 市道第17号線の歩道の拡幅や、建物周辺環境や、多目的に使えるスペースの整備等